

留学先国名 : オーストラリア

留学先学校名 : キングスクリスチャンカレッジ

留学期間 : 平成 28 年 1 月 8 日 ~ 平成 28 年 6 月 18 日

留学して良かった。半年間のオーストラリア留学を終えた私が心からそう思っているのはなぜでしょうか。グローバル化が進む現代、高校生にとっても海外留学が身近なものとなっています。私は小さい頃から英語や海外に興味があり、何度か短期留学に行ったり、国際交流プログラムに参加したりしました。その中で海外に沢山の友達が出来て、異文化を体験する楽しさを知ると同時に「もっともっと英語でコミュニケーションをとりたい！」と思うようになっていきました。そして今回の留学に行くことを決意しました。この半年間で私なりに様々なことを学んできました。

留学中の生活について : 私が留学していたゴールドコーストはオーストラリア連邦クィーンズランド州の南東部にあります。海がとても綺麗でサーフィンが盛んな街です。日本との時差は一時間、気候は亜熱帯性気候で降水量が少なく1年を通して温暖な気候なのでとても過ごしやすかったです。海沿いですが、少し内陸に入ると山もあり観光業の盛んなリゾートエリアでした。アジア諸外国、欧米からの観光客が多く多国籍レストランも沢山ありました。

留学当初、私は自分の英語力の無さを実感しました。伝えたいことが上手く伝えられない。言っていることが理解できない。このもどかしさがバネとなり、ますます英語の勉強をすることに意義を感じました。インプットしたことをすぐにアウトプットできる環境にあったからこそ、やる気に火が付きました。

オーストラリアの高校のアサシメントは、自分で考えたテーマで800語以上のエッセイを書いたり、課題図書を読みその本の登場人物になりきって4分ほどのスピーチをしたり、「答え」の無いものがほとんどでした。教科によってアサシメントの種類は色々でしたが、どの教科の課題も日本の宿題と違いすぎてとても大変でした。

しかし、留学生だからといって課題をやらなくて良いなんてことはありません。現地の生徒にと同じ内容の課題を私なりに本気で取り組みました。私は、スピーチやプレゼンテーションをした後の達成感が大好きで、その緊張感でさえも楽しむことができました。

また、この留学では英語以外にも沢山のことを学びました。現地では、ホストファミリーの方々にお世話になりました。私のホストファミリーは7人家族でとても気さくな方々でした。特に4歳年下のホストシスターと一緒に学校に通ったり、休日にショッピングに行ったり、一緒にお菓子を作ったりしてとても仲良くなりました。このホームステイを通しての家族の存在の大きさや自己管理の必要性を学ぶことができました。また学校やクラブ活動などで出会った異なる国籍の友達と関わることで、異なる価値観を知ることができました。ゴールドコーストの自然や街並みを満喫して感動することもありました。そして何よりも自分自身のことを知る良い機会となりました。

留学の成果：留学から帰国してすぐに、私は通学する学校のアメリカの姉妹校からの留学生のホストシスターになりました。その留学生と一緒に学校に通ったり、大阪の街の案内や文化の紹介をする中で自身の留学の成果を感じました。留学に行く前は自分の話す英語になんとなく自信が無く、あまり自分から英語を話したりできなかったのですが、この半年留学を経験してからは自分から積極的に英語を話すようになり、英語で他愛のない話も楽しむこともできるようになりました。英語を使って沢山のひとと話すことを本気で楽しめるようになったのも大きな成長なのかもしれません。

留学で得たものをどのようにして活かすか：今回の留学で私は「自ら積極的に行動を起こす大切さ」を学びました。現地の学校でもわからないことがあれば友達や先生に尋ねなければならず、そこから理解や新しい発見に繋がることもありました。大変な事や面倒くさい事でも一度やってみることで興味が湧いてきたり、楽しむことが出来たりしました。そして何事にも挑戦してみようという積極的な気持ちを持つことができました。この積極性と英語というコミュニケーションツールを活かし、将来、何か社会に貢献できるような人物として活躍したいと思っています。

これから留学する人へのアドバイス：留学はすごく貴重な経験です。しかし、留学に行ったら必ず留学した国の言語が習得できるという訳ではありません。その留学で自分がどれだけ沢山のことを学び、大切な事に気づくことができるかは自分次第です。日本語を話すことができる人がいても出来るだけ日本語で話さないことや、日本では経験できないことをできるだけ積極的にチャレンジすることも必要です。日本と比べてゆとりの時間の多い放課後の暇な時間を有効に使うなど、留学中にしかできないことを思いっきり楽しんでください！

今回のオーストラリア留学の経験は私にとってかけがえのない宝物となりました。

多民族国家であるオーストラリアで色々な国の人達と友達になれたこと、自分のことは自分であるという自立心が芽生えたこと、日本を離れ生活する中で多くの気づきがあったことなど自分自身にとっては、プラスになる点が多くありました。

勿論、言葉が通じず意思疎通がうまくいかず悔しい思いもしました。

国民性や習慣の違いで戸惑うこともありました。でも英語という一つのコミュニケーションツールは私の視野を大きく広げてくれました。

留学を終えた今は、英語をもっと学びたいと感じています。益々、英語の勉強に力を注ぎたいと思います。

また、日本のことをさらに勉強しなくてはと思っています。

この素敵な経験と私の留学を支えてくださった全ての方々への感謝の気持ちを忘れずにこれからは人間的にももっともっと成長し続けていきたいと思っています。